



2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年1月28日

上場会社名 日本興業株式会社

上場取引所

東

コード番号 5279 URL <https://www.nihon-kogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 山口 芳美

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務人事部広報・IR室長兼 総務担当部長 (氏名) 朝井 正哉

TEL 087-894-8130

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	11,363	15.2	477	84.8	507	71.0	328	85.3
2025年3月期第3四半期	9,860	6.2	258	78.1	296	59.2	177	93.0

(注)包括利益 2026年3月期第3四半期 416百万円 (160.0%) 2025年3月期第3四半期 160百万円 (-9.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
		円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	112.84		
2025年3月期第3四半期	61.11		

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	16,881	8,230	48.8
2025年3月期	16,209	7,913	48.8

(参考)自己資本 2026年3月期第3四半期 8,230百万円 2025年3月期 7,913百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期		0.00		40.00	40.00
2026年3月期(予想)		0.00		45.00	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,200	3.1	630	5.9	680
					6.2
					430
					9.2
					148.25

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名)

、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	3,064,200 株	2025年3月期	3,064,200 株
期末自己株式数	2026年3月期3Q	147,687 株	2025年3月期	160,568 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	2,910,210 株	2025年3月期3Q	2,900,432 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想には、さまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関しましては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調を維持しているものの、原材料価格の高止まりに加え、日中関係の急激な悪化の影響が懸念されるなど、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループ（当社および子会社）は、販売部門においては、役所や建設コンサルタントに向けて営業担当と営業推進担当が一丸となり、開発・設計・生産部門の関連部署の支援のもと、当社プレキャストコンクリート製品の提案を推し進めてまいりました。また、開発・設計部門の支援による3次元データ等のデジタル技術を駆使しながら、高付加価値製品の拡販や難易度の高い特注物件の受注に注力いたしました。加えて原材料価格の高騰に対処すべく、販売価格の適正化にも注力いたしました。一方、生産部門においては、製造現場の労働環境の改善により生産性や安全性の向上を図るとともに、品質向上のための体制構築を積極的に進めてまいりました。また、協力会社との連携強化により物流の合理化に取組むなど、グループ一丸となって収益の確保に努めてまいりました。加えて、低炭素型コンクリート「Necoコンクリート®」や自己治癒コンクリート「バジリスク」を用いた製品の拡充に努めるなど、脱炭素化に向けた取組みを強化とともに、豪雨災害に備え雨水を「しみこませる」まちづくりを進めるべく東京都が推進する「雨水しみこみプロジェクト」に参画し、官民共同で雨水流出抑制に資するグリーンインフラ施設のモデル整備事業等により流域治水への取組みを推し進めるなど、社会的課題に向けたソリューションにも注力いたしました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、土木資材事業の大型物件がけん引し、113億63百万円（前年同期比15.2%増）となりました。また、利益面においても、土木資材事業の大幅な增收ならびに高付加価値製品の拡販が奏功し、営業利益は4億77百万円（前年同期比84.8%増）、経常利益は5億7百万円（前年同期比71.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億28百万円（前年同期比85.3%増）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

(セグメント別売上高の状況)

区分	期別		前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比		
土木資材事業	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
6,849	69.5	8,344	73.4	2,381	24.1	2,282	20.1	
エクステリア事業	629	6.4	737	6.5	合計	100.0	11,363	100.0
	9,860	100.0						

(土木資材事業)

国や地方の推進する「国土強靭化」を始め「防災・減災」「維持・補修」「流域治水」などの重点施策に対応するオリジナル製品の拡販や、建設現場の省力化・効率化に向けたプレキャスト化の提案を積極的に推し進めた結果、分割式の大型ボックスカルバートやL型擁壁が堅調に推移したほか、港湾関連製品や、高速道路の橋脚に用いられる高耐久埋設型枠「S E E D フォーム」も順調に売上を伸ばしたこと、当セグメントの売上高は83億44百万円（前年同期比21.8%増）、当セグメント利益は5億37百万円（前年同期比146.4%増）となりました。

(景観資材事業)

豊富な製品ラインナップと当社の特注対応力を活かした製品の提案を積極的に推し進めたことで、都市部の大型物件において特注平板や擬石ファニチュアなどが好調に推移したものの、バリアフリーペイプ等の主力製品が苦戦し、当セグメントの売上高は22億82百万円（前年同期比4.2%減）、品質向上に向けた生産設備の修繕・更新を推し進めたことで、当セグメント損失は41百万円（前年同期は42百万円の利益）となりました。

(エクステリア事業)

立水栓を始めとする水回り製品において、シンプルデザインの新製品「スライン」や「シャネア」などを投入し、SNSを中心に積極的な製品PRを実施したことで売上を確保したほか、販売子会社のニッコーエクステリア株式会社の特販部における販売も好調に推移したことで、当セグメントの売上高は7億37百万円（前年同期比17.0%増）となったものの、価格競争を余儀なくされたことで、当セグメント損失は18百万円（前年同期は2百万円の損失）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて6億71百万円増加し、168億81百万円となりました。これは主に、製造現場における設備投資に伴い、固定資産が5億4百万円増加したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて3億55百万円増加し、86億51百万円となりました。これは主に、短期借入金が4億73百万円増加したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて3億16百万円増加し、82億30百万円となりました。この結果、自己資本比率は48.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績および今後の見通しを踏まえ、2025年10月28日に公表しました予想に対し、次のとおり修正いたします。

2026年3月期通期連結業績予想の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高 百万円	営業利益 百万円	経常利益 百万円	親会社株主に帰属する 当期純利益 百万円	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想(A)	14,800	610	650	420	144.81
今回発表予想(B)	15,200	630	680	430	148.25
増減額(B-A)	400	20	30	10	
増減率(%)	2.7	3.3	4.6	2.4	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	14,746	594	640	393	135.70

(修正の理由)

売上高につきましては、土木資材事業部が港湾関連製品を中心に好調を維持していることから、前回予想値を修正いたします。営業利益、経常利益ならびに親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、土木資材事業部の増収に伴い、それぞれ前回予想値を修正いたします。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	1,467,297	1,093,729
受取手形、売掛金及び契約資産	3,101,119	2,665,744
電子記録債権	1,815,878	2,281,464
商品及び製品	1,625,828	1,913,673
仕掛品	101,900	121,329
未成工事支出金	112,981	302,920
原材料及び貯蔵品	417,215	398,292
その他	127,473	159,728
貸倒引当金	△720	△780
流动資産合計	8,768,974	8,936,104
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	916,582	943,441
土地	3,874,297	3,874,297
その他（純額）	1,378,432	1,638,180
有形固定資産合計	6,169,311	6,455,919
無形固定資産	215,171	224,643
投資その他の資産		
投資有価証券	656,933	800,268
退職給付に係る資産	263,216	273,354
繰延税金資産	29,812	63,571
その他	106,070	158,090
貸倒引当金	—	△30,837
投資その他の資産合計	1,056,032	1,264,447
固定資産合計	7,440,515	7,945,010
資産合計	16,209,490	16,881,114
負債の部		
流动負債		
支払手形及び買掛金	1,145,929	1,142,474
電子記録債務	1,844,845	1,597,348
短期借入金	2,456,632	2,930,500
未払法人税等	206,673	72,171
未払消費税等	160,223	116,064
未払費用	271,984	322,381
賞与引当金	200,686	132,717
役員賞与引当金	14,516	—
工事損失引当金	4,768	6,303
その他	781,961	862,300
流動負債合計	7,088,220	7,182,261
固定負債		
長期借入金	749,197	930,484
繰延税金負債	50,749	149,980
その他	407,851	388,375
固定負債合計	1,207,797	1,468,839
負債合計	8,296,018	8,651,101

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,019,800	2,019,800
資本剰余金	1,987,224	1,996,248
利益剰余金	3,623,470	3,835,721
自己株式	△87,091	△80,188
株主資本合計	7,543,402	7,771,582
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	324,805	420,656
退職給付に係る調整累計額	45,263	37,775
その他の包括利益累計額合計	370,069	458,431
純資産合計	7,913,472	8,230,013
負債純資産合計	16,209,490	16,881,114

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	9,860,881	11,363,094
売上原価	7,797,892	8,818,239
売上総利益	2,062,988	2,544,854
販売費及び一般管理費	1,804,484	2,067,168
営業利益	258,503	477,686
営業外収益		
受取配当金	19,593	22,725
受取賃貸料	9,536	7,319
工業所有権実施許諾料	4,940	1,400
物品売却益	6,073	9,269
雑収入	18,590	19,188
営業外収益合計	58,734	59,904
営業外費用		
支払利息	17,979	27,125
賃貸費用	2,282	2,554
雑損失	166	238
営業外費用合計	20,427	29,918
経常利益	296,810	507,672
特別利益		
固定資産売却益	353	545
特別利益合計	353	545
特別損失		
固定資産売却損	—	3,083
固定資産除却損	0	1,382
特別損失合計	0	4,466
税金等調整前四半期純利益	297,163	503,750
法人税、住民税及び事業税	77,059	154,715
法人税等調整額	42,870	20,638
法人税等合計	119,930	175,354
四半期純利益	177,233	328,396
親会社株主に帰属する四半期純利益	177,233	328,396

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	177,233	328,396
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,046	95,850
退職給付に係る調整額	△15,915	△7,488
その他の包括利益合計	△16,962	88,361
四半期包括利益	160,271	416,758
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	160,271	416,758

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	376,218千円	417,301千円
のれんの償却額	10,363	10,363

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額 (注)
	土木資材事業	景観資材事業	エクステリア事業	合計		
売上高						
官需	4,744,148	1,834,828	14,188	6,593,166	—	6,593,166
民需	2,105,232	546,675	615,807	3,267,715	—	3,267,715
顧客との契約から生じる収益	6,849,381	2,381,503	629,996	9,860,881	—	9,860,881
外部顧客への売上高	6,849,381	2,381,503	629,996	9,860,881	—	9,860,881
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,849,381	2,381,503	629,996	9,860,881	—	9,860,881
セグメント利益又は損失 (△)	218,153	42,624	△2,274	258,503	—	258,503

(注) セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額 (注)
	土木資材事業	景観資材事業	エクステリア事業	合計		
売上高						
官需	6,660,725	1,891,732	44,219	8,596,678	—	8,596,678
民需	1,683,315	390,311	692,789	2,766,416	—	2,766,416
顧客との契約から生じる収益	8,344,041	2,282,044	737,008	11,363,094	—	11,363,094
外部顧客への売上高	8,344,041	2,282,044	737,008	11,363,094	—	11,363,094
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,344,041	2,282,044	737,008	11,363,094	—	11,363,094
セグメント利益又は損失 (△)	537,589	△41,643	△18,259	477,686	—	477,686

(注) セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。